

「使用上の注意」の改訂に関するお知らせ

2026 年 8 月-9 月

持続性Ca拮抗剤

日本薬局方

アゼルニジピン錠

アゼルニジピン錠8mg「JG」

アゼルニジピン錠16mg「JG」

Azelnidipine Tablets

製造販売元 日本ジェネリック株式会社

このたび、上記の弊社製品につきまして、「使用上の注意」の一部を改訂いたしました。ご使用に際しましては、改訂後の各項を十分ご参照くださいますようお願い申し上げます。

また、今後とも弊社製品のご使用に当たって、副作用等の治療上好ましくない事象をご経験の際には、弊社までできるだけ速やかにご連絡くださいますよう、併せてお願い申し上げます。

1. 改訂内容

- 相互作用相手薬記載との整合のため、以下のとおり自主改訂いたしました。

✓ 「禁忌」及び「併用禁忌」の項に、「ツカチニブ エタノール付加物」及び「ロナファルニブ」を追記いたしました。

2. 改訂箇所(抜粋)

(改訂箇所：_____部、削除箇所：_____)

改 訂 後			改 訂 前		
2. 禁忌（次の患者には投与しないこと） 2.1-2.2 〈変更なし〉 2.3 イトラコナゾール、ミコナゾール（経口剤、注射剤、口腔用剤）、フルコナゾール、ホスフルコナゾール、ボリコナゾール、ボサコナゾール、HIVプロテアーゼ阻害剤（リトナビル含有製剤、ダルナビル含有製剤）、コビシスタット含有製剤、ニルマトレルビル・リトナビル、エンシトレルビル フマル酸、クラリスロマイシン、セリチニブ、ツカチニブ エタノール付加物、ロナファルニブを投与中の患者 〔10.1、16.7.1 参照〕			2. 禁忌（次の患者には投与しないこと） 2.1-2.2 〈省略〉 2.3 イトラコナゾール、ミコナゾール（経口剤、注射剤、口腔用剤）、フルコナゾール、ホスフルコナゾール、ボリコナゾール、ボサコナゾール、HIVプロテアーゼ阻害剤（リトナビル含有製剤、ダルナビル含有製剤）、コビシスタット含有製剤、ニルマトレルビル・リトナビル、エンシトレルビル フマル酸、クラリスロマイシン、セリチニブを投与中の患者 〔10.1、16.7.1 参照〕		
10. 相互作用 10.1 併用禁忌(併用しないこと)			10. 相互作用 10.1 併用禁忌(併用しないこと)		
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
〈変更なし〉			〈省略〉		
HIVプロテアーゼ阻害剤 〈変更なし〉	本剤の作用が増強されるおそれがある。	これらの薬剤がCYP3A4を阻害し、本剤のクリアランスが低下すると考えられる。	HIVプロテアーゼ阻害剤 〈省略〉	本剤の作用が増強されるおそれがある。	これらの薬剤がCYP3A4を阻害し、本剤のクリアランスが低下すると考えられる。
クラリスロマイシン クラリス、クラリシッド セリチニブ ジカディア ツカチニブ エタノール付加物 ツカイザ ロナファルニブ ゾキンヴィ 〔2.3 参照〕					
			クラリスロマイシン クラリス、クラリシッド 〔2.3 参照〕 セリチニブ ジカディア 〔2.3 参照〕		

(2026 年 8 月改訂)

3. DSU掲載

使用上の注意改訂情報は、2026 年 9 月発行の「医薬品安全対策情報（DSU）No.348」に掲載されます。

今回の使用上の注意改訂等を反映した電子化された添付文書情報につきましては、以下よりご確認ください。

- ・日本ジェネリック株式会社 医療関係者向けサイト (<https://medical.nihon-generic.co.jp/>)
- ・医薬品医療機器総合機構ホームページ(<https://www.pmda.go.jp/>)
- ・「添文ナビ[®]」にて個装箱等に表示の GS 1 バーコードを読み取る。
「添文ナビ[®]」のインストールや使用方法は日薬連のホームページをご覧ください。
(<http://www.fpmaj.gr.jp/Library/eMC/>)

お問合せ先：日本ジェネリック株式会社
安全管理部 TEL：03-6684-2467

アゼルニジピン錠「JG」



J20260020